



Saica NEWS

Saitama international cooperation action News

2023
Vol.2



JICA技術協カプロジェクト 水道事業運営管理能力向上プロジェクト（MaWaSU2）終了



～プロジェクト活動後半を振り返って～

経営企画課 石川主幹（MaWaSU2 チーフアドバイザー）

2023年12月20日、5年7か月のMaWaSU2プロジェクトが終了しました。短期専門家派遣や研修生受け入れ、また派遣に関連する諸手続き等、水道局の皆様には大変お世話になりました。本当にありがとうございました。私の派遣は2021年5月コロナ真っ只中の活動スタート、はじめの一年間は何らかの活動制限があり、手探りのような状況でしたが、オンラインやSNS等を活用し、工夫しながらなんとか乗り越えることができました。プロジェクトでは何があるかわからない、そのような状況下でもできる範囲で最善を尽くしていくことで活動を続けられ、皆さんの協力もあり、無事終了を迎えることができました。

MaWaSU2プロジェクトではOJTを中心としたカウンターパート（CP）に寄り添い密着した活動を続けてきました。これがMaWaSU2活動の強みだと思います。単純に成果達成を求めるだけでなく、CPの能力強化を見据え時間をかけて対応してきました。ゆっくりですが確実にCPの能力は向上しております。そして彼らが組織の重要なポジションになりつつあります。MaWaSU2で学んだことを活用し今度は彼らが、自分自身で変えていくことができれば素晴らしいことだと思います。

《各Output活動と成果》

【Output 1 活動】制度改善と水道行政能力強化

1. 制度改善戦略/優先課題改善戦略：水道セクター内の課題の整理と対応策の検討、法令等の策定
2. 水道開発基金：策定運営に向けた山積する課題の整理検討、実施計画書ドラフト作成
3. 水道衛生戦略：政府版戦略の策定と全国展開、都県版戦略の策定に向けた県行政への支援



政府版水道戦略全国説明会

【Output 2 活動】施設整備実施能力強化（パイロットプロジェクト実施）

1. 9件のパイロットプロジェクトを実施
2. 水道公社の能力向上（計画立案、提案書作成、資機材管理、安全管理、施工管理、品質管理、写真管理、ガイドラインやマニュアルの作成）
3. 公共事業運輸省水道局の能力向上（審査、プロジェクトモニタリング、評価）



パイロットプロジェクト1期（ボリカムサイ県）

【Output 3 活動】技術基準の策定と全国展開

1. 技術基準の策定：策定チームを結成し検討、技術基準ドラフトの全国説明会実施、DWS内の審査、公共事業運輸大臣の承認
2. 技術基準の全国展開：技術基準の印刷製本、全国水道セクターに説明会開催



印刷製本された技術基準

【Output 4 活動】水道公社の能力強化（全国展開）

1. 各分野の能力強化：データ管理、お客様サービス、計画、財政、水質、ラオス水道協会
2. データ管理：水道事業ガイドラインの改訂（23PI）、事業年報作成の定着化
お客様サービス：検針・集金マニュアルによる業務適正化、水道教室の実施
計画：水需要予測、計画給水区域の設定、長期計画の策定
財政：予算決算管理（単年度における報告、分析）、財政5表の作成
水質：資機材供与、水質検査マニュアル作成、全国セミナー開催
ラオス水道協会：協会設立、事業計画・活動報告書の作成、理事会開催、事務局運営体制の強化
3. Mini-workshopを開催：3パイロット公社が講師となり分野別に地域の公社へ全国展開



水道教室



本邦研修（水質）



ラオス水道協会総会

《4事業体の連携》

MaWaSU2では埼玉県、横浜市、川崎市、さいたま市の4事業体が連携し、MaWaSU2の広範囲な活動を協力して進めることができました。MaWaSU2では上記4事業体にJICAを加えた5組織で「技術協力プロジェクト実施に関する協定書」を締結することにより、日本の水道事業者が中心となって、足りないところや強化したい分野等を支えあいながら活動を推進しました。効果的で、非常に良い枠組みだと思いますので今後も引き続き協力していければと思います。

《おわりに》

MaWaSU、MaWaSU2で10年以上技術協力プロジェクトが続いています。そして、本年2月からMaWaSU3がスタートしています。ラオス水道はまだ資金面で不十分ですが、人材としては中堅若手のCPを中心に成長しています。開発途上にあるラオスは日本と比べると変化が大きい国です。ラオス水道界も今後大きな変化があるかもしれませんが、水道として基本的なことは変わらないと思います。彼らが主体的に取り組みどんな状況でも、いつでも安全安心な水道が提供できるようになるよう今後も頑張ってもらいたいです。

コープチャイ ライライ（どうもありがとうございました）



ワットアイ空港での最後の見送り



MaWaSU2クロージングセミナー



【さいたま市参加者】：給水部・並木次長、維持管理課・野村主査

【日本側参加者】 埼玉県、横浜市、川崎市、JICA：地球環境部水資源グループ、ラオス事務所

【ラオス側参加者】 公共事業運輸省、18都県公共事業運輸局（都県行政）、18都県水道公社

MaWaSU2プロジェクトの終了に際して、首都ビエンチャンにおいて令和5年11月にクロージングセミナーが開催されました。日本からはプロジェクトの各参画事業体及びJICAより参加したほか、ラオス全国の水道行政及び水道公社関係者が一堂に介しました。セミナーではプロジェクト全体を通じた成果報告のほか、JICAより次期案件となる「MaWaSU3」に関する説明が行われ、5年7ヶ月に及ぶプロジェクトの総括が実施されました。さいたま市からも草の根技術協力事業の継続意向とその方針に関する発表を行い、各方面からのラオスに対する継続した技術支援について、会場に集まった全国の水道セクター関係者と共有しました。



参画事業体挨拶
(給水部 並木次長)



チーフアドバイザーによる総括
(経営企画課 石川主幹)



草の根次期案件報告
(維持管理課 野村主査)



国際協力推進検討会議WG（作業部会）



前号では本会の取組みの一部を紹介したため、今回は作業部会の活動についてお伝えいたします。

【作業部会①：草の根技術協力支援】

今年度は草の根技術協力事業の次期案件の検討を中心に行っています。提案内容の大枠の検討から始まり、具体的な活動内容に至るまで意見交換やグループディスカッションを通して検討を進め、無事令和5年10月に最終化した内容に関してJICAへ提案書の提出を行いました。

【作業部会②：語学強化支援】

今年度より開始したこの作業部会では、国際協力事業に関わる職員の語学強化支援を目的として、オンライン語学試験「CASEC」の受験と、その結果を通じたフィードバックを行っています。走り出したばかりではあるが、手探りの部分もありますが、受験者を中心に意見を出し合い、継続した支援と、それを通じた国際協力における活躍の場の拡大を目指して活動していきます。

国際協力WG 本会	・国際協力に関する情報共有 ・国際研修等の案内	・事例紹介 ・局内広報のアイデア募集
作業部会① 草の根事業支援	・次期草の根案件の提案内容検討 ・活動内容の具体化	
作業部会② 語学強化推進	・CASEC（オンライン語学試験）の受験 +フィードバック ・語学勉強の補助	

国際協力WG体制図



- JICA技術協力プロジェクト (MaWaSU2)、JICA草の根技術協力事業の詳細は
JICA (MaWaSU2) ⇒ <https://www.jica.go.jp/project/laos/023/index.html>
JICA草の根 ⇒ <https://www.city.saitama.jp/001/006/002/034/001/p063565.html>



発行：さいたま市水道局
業務部経営企画課経営企画係
TEL 048-714-3185
FAX 048-832-7775